

九州産交運輸の新センターを救援物資の中継施設として活用

鳥栖定温流通センターを「災害時協力物資拠点」に登録

九州産交運輸株式会社（本社：熊本市南区、代表取締役 宮原 淳一、以下 九州産交運輸）は、九州運輸局からの依頼を受け、鳥栖定温流通センター（佐賀県鳥栖市）※を「災害時協力物資拠点（基準適合施設）」に登録しました。

※関連報道発表（2026 年 4 月 6 日） https://www.konoike.net/news/news_file/file/2026040602_news.pdf

「災害時協力物資拠点」は、災害発生後、被災者に提供する救援物資を集積・仕分けし、避難所へスムーズに届けるための中継施設として、国土交通省が管理するもので、各都道府県が支援物資物流に必要な物資拠点を設置するにあたり、その選定候補となる拠点です。そのうち、特定の設備や十分な荷役スペースの有無、新耐震基準への適合等の一定の条件を満たした拠点は「災害時協力物資拠点（基準適合施設）」として登録されます。

今回登録された鳥栖定温流通センターは 2026 年 4 月に開設しました。鳥栖 IC から 0.5km の好立地にあり、耐震構造、非常用発電機を完備した BCP 対応に加えて、医薬品の保管基準である GDP ガイドラインにも準拠した九州産交運輸の主力拠点の一つです。

KONOIKE グループは、これまでも地震や台風などの自然災害発生時に、物流、医療、空港業務などを通じて社会インフラの緊急支援対応に取り組みつつ、緊急時対応の経験を重ねてまいりました。これらの知見をもとに、今後も災害時の被災地支援に積極的に貢献していきたいと考えています。

■ 登録拠点情報

分類名	災害時協力物資拠点（基準適合施設）
拠点名	九州産交運輸株式会社 鳥栖定温流通センター
所在地	佐賀県鳥栖市姫方町 567-1

■ 鴻池運輸株式会社の概要 (<https://www.konoike.net/>)

KONOIKE グループは、物流の枠を超え、製造、医療、空港業務などを通じ、社会課題の解決と革新に挑戦し続ける、プロフェッショナルサービス集団です。

商号	鴻池運輸株式会社 ※東証プライム市場	代表者	代表取締役会長兼社長執行役員 鴻池 忠彦
大阪本社	大阪市中央区伏見町 4-3-9	東京本社	東京都中央区銀座6-10-1
創業	1880（明治13）年5月	会社設立	1945（昭和20）年5月30日
資本金	1,723百万円	従業員数	約25,000名（連結） ※臨時雇用者数を含む
売上高	355,555百万円（連結）	営業利益	22,785百万円（連結）
事業内容	鉄鋼事業、エンジニアリング事業、食品関連／定温物流事業、食品プロダクツ関連事業、生活関連事業、メディカル事業、空港事業、国際物流事業、インド事業		

※資本金、売上高、営業利益、従業員数：2026年3月31日現在

●本ニュースリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。